

三択クイズ！

Q.高知市の追手筋で毎週日曜日に開かれる「日曜市」。
始まったのは何時代だったのでしょうか？

- ①明治時代 ②江戸時代 ③昭和時代



答え

②江戸時代

1690(元禄3)年に始まったといわれ、その長さは約1kmにもなります。

約300店が新鮮な野菜や果物などを売っています。

市が始まった当時は、月のうちの決まった日に決まった場所で開かれる、いわゆる日切市(ひぎりいち)でした。土佐藩の公式文書である大定目(だいじょうもく)にも掲載されています。

市が毎週日曜日(現在は、お正月及びよさこい祭りと重なる場合は休市)に開かれるようになったのは、太陽暦が採用された明治時代。場所は、本町筋(現在の電車通り)、帯屋町筋と移り、追手筋に定着したのは、戦後のことです。